

RIPC News Letter

龍谷大学知的財産センターニュースレター
No.15

You,
Unlimited



発行日：2019年4月9日

ご報告 2018年度 龍谷大学特許出願、特許成立状況

2018年度には、本学では、16件の研究成果を特許出願いたしました。
また、これまでに特許していた発明案件の中で、4件の特許権が成立しました。

<特許出願状況>

No.	代表発明者	出願番号	出願日	出願種別
1	理工学部 永瀬 純也 講師	特願 2018-106511	2018.06.01	単独出願
2	農学部 植野 洋志 教授	特願 2018-161869	2018.08.30	単独出願
3	農学部 佐藤 茂 教授	特願 2018-200888	2018.10.25	単独出願
4	理工学部 森 正和 講師	特願 2018-222786	2018.11.28	共同出願
5	理工学部 石崎 俊雄 教授	特願 2018-230466	2018.12.08	単独出願
6	理工学部 山本 伸一 教授	特願 2019-001764	2019.01.09	単独出願
7	理工学部 岩澤 哲郎 教授	特願 2019-018725	2019.02.05	単独出願
8	理工学部 森 正和 講師	特願 2019-019497	2019.02.06	単独出願
9	理工学部 森 正和 講師	特願 2019-019502	2019.02.06	単独出願
10	理工学部 石崎 俊雄 教授	特願 2019-026262	2019.02.18	単独出願
11	理工学部 石崎 俊雄 教授	特願 2019-051148	2019.03.19	単独出願
12	農学部 永野 惇 講師	特願 2019-045901	2019.03.13	単独出願



<特許出願状況> (外国)

No.	代表発明者	出願番号	出願日	出願種別
1	理工学部 木村 睦 教授	PCT/JP2018/39111 (PCT)	2018.10.19	共同出願
2	農学部 永野 惇 講師	BR102019000485-1 (ブラジル)	2019.01.10	共同出願
3	農学部 永野 惇 講師	16/244459 (米国)	2019.01.10	共同出願
4	農学部 永野 惇 講師	201910022338.X (中国)	2019.01.10	共同出願

<特許成立状況>

No.	代表発明者	特許番号	登録日	出願種別	発明の名称
1	理工学部 岸本 直之 教授	第 6319719 号	2018.04.13	共同出願	排水処理方法及び排水処理装置
2	理工学部 岸本 直之 教授	第 6319720 号	2018.04.13	共同出願	排水処理方法及び排水処理装置
3	理工学部 岸本 直之 教授	第 6385270 号	2018.08.17	共同出願	促進酸化水処理方法
4	理工学部 木村 睦 教授	第 6488202 号	2019.03.01	共同出願	磁気抵抗素子及び電子デバイス

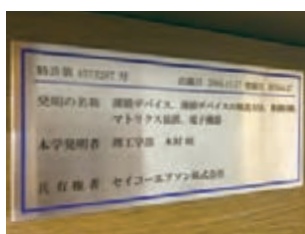
ご報告 大学単独出願特許の権利化状況

2018年度から、ライセンス先が無い単独出願について、発明者が権利化を希望し、権利化を行うことの妥当性が特に認められる場合には、大学が費用負担して権利化を推進することとなりました。発明者の申請に基づき、「特許性」「実用性」「独創性」を指標として絶対評価で審査され、2018年度(2016年度単独出願分)は、対象7件のうち2件が選出されました。

既に複数の企業から関心が寄せられている発明もあり、今後の社会実装への期待が高まります。

代表発明者	出願番号	発明の名称
農学部 佐藤 茂 教授	特願 2016-229009	根伸長促進剤
理工学部 石崎 俊雄 教授	特願 2017-029511	人工誘電体及び人工誘電体共振器

ご報告 特許プレートの設置



特許成立に貢献した発明者の栄誉を称える掲示物を瀬田学舎の1号館エントランスに設置しました。特許成立には、発明の特許性、実用性、独創性等を証明し、技術移転先となる企業等と連携するなど、発明者の多大なる貢献が必要不可欠です。

プレートは、国内特許と外国特許に分かれていて、特許成立に貢献された発明者(教育職員、学生等)の学部と氏名、共有権者の企業名等が刻まれています。

今後ますます発明が創出され、枠に収まらない量のプレートが作成されることを願っています。

イノベーションジャパン2018

8月30日(木)、8月31日(金)の2日間、東京ビッグサイトで開催された「イノベーション・ジャパン2018～大学見本市&ビジネスマッチング～」(主催:科学技術振興機構(JST)、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO))に出展しました。

本件は、大学等における研究成果の実用化を促進するため、優れた技術シーズと産業界のニーズとの国内最大規模の産学マッチングイベントです。2日間で14,000名を超える来場者数となり、本学ブースにも多くの方にお越しいただきました。

開催2日目の8月31日(金)には、理工学部物質化学科の大柳満之教授がプレゼンテーションを行い、革新的材料・プロセス研究センターの取り組みや研究内容について講演を行いました。

【大学組織展示】

- ◆「極限材料と水素－安全なエネルギー供給に向けた挑戦－」
(革新的材料・プロセス研究センター)
理工学部 物質化学科 教授 大柳満之

【シーズ展示】

- ◆装置・デバイス「容易な挿入を可能にする大腸内視鏡推進デバイス」
理工学部 機械システム工学科 講師 永瀬純也
- ◆ライフサイエンス「健常苗生産のための安価な根伸長促進剤」
農学部 資源生物科学科 教授 佐藤茂

知的財産セミナー

知的財産センターでは、学内における知的財産活動の啓発に努めており、その一環として、学生・教職員を対象とした知的財産セミナーを開催しています。

2018年度は深草・瀬田両学舎において「著作権」をテーマに、齊藤特許商標事務所所長の齊藤弁理士からご講演いただきました。

メルカリ、漫画村、パズドラ、東京五輪ロゴ問題 等々、身近な具体例で参加者を惹きつけ、好評のうちに終了しました。



ライフサイエンス系新技術説明会・ものづくり技術新技術説明会

2月28日(木)、「ライフサイエンス系新技術説明会・ものづくり技術新技術説明会」(主催:科学技術振興機構、大阪工業大学、大阪産業大学、関西大学、関西学院大学、京都産業大学、近畿大学、甲南大学、摂南大学、龍谷大学)が開催されました。本説明会は、大学研究者が自らの特許技術について実用化を展望した技術説明を行い、広く実施企業・共同研究パートナーを募るものです。本学からは、理工学部 兵藤憲吾助教より「酵素反応に学ぶ官能基変換のためのオキシム試薬の開発」というテーマで技術シーズを紹介しました。

当日は多くの企業関係者にご聴講いただき、たくさんの関心が寄せられました。また、シーズ発表終了後には、名刺交換やシーズ内容に関する質問や相談が寄せられ、盛況のうちに終了いたしました。

知的財産センターでは今後も引き続き、このような機会を通して本学で生まれる研究成果の技術移転に努めていきます。

知財トピックス 知的財産について

2018年4月からアドバイザーを務めている、元龍谷大学理工学部の河嶋壽一です。知的財産について、多くの方々により良く知っていただくとともに、活用していただくことの一助となることを目的として、引き続き、知財トピックスを継続したいと思います。今回は、改めて知的財産センターが扱う知的財産についてご紹介します。

① 知的財産とは

知的財産とは、人間の創造的活動により生み出されるもの等を言います。知的財産は、多くの資金・労力・時間等を使って得られたものであるため、他者による模倣を防止するとともに独占して実施・使用等ができるように、知的財産権として保護することができます。

② 知的財産権とは

知的財産権とは、下記の権利を総称して言い、管轄する省庁は次のとおりです。

- 産業財産権(下記の4権):特許庁
 - 特許権(発明)、商標権(商品・サービスに使用するマーク)
 - 実用新案権(物品の考案)、意匠権(物品のデザイン)
- 著作権(思想または感情の創作物):文化庁
- 育成者権(植物の新品種):農林水産省

- 回路配置利用権(半導体):経済産業省
- 不正競争防止法上の利益(営業秘密):経済産業省

③ 知的財産権を活かすには

大学における研究・教育活動等から生み出される知的財産を権利化した後は、それらを活用することにより更なる創造的活動につなげることが重要です(サイクル化)。

大学は、権利の実施許諾、権利譲渡等を通して、保有する知的財産を企業等に使用してもらうことで、豊かな人間社会の継続・発展に貢献することができます。

また、企業等と連携することは、研究費の獲得や本学が優れた知的創造能力を有することを対外的にアピールすることにつながり、このことがサイクル化の起点となります。

知的財産センターでは、Ryukoku Extension Centerと連携し、本学の知的財産を、技術マッチングを図る展示会等で積極的に発信し、技術移転活動を進めています。

次回からはそれぞれの知的財産権について、ご紹介したいと思います。



知的財産アドバイザー 河嶋 壽一